

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

井谷 (L)、山本、後藤

2. 山城/ルート

若狭 耳川 うつろ谷

3. 交通手段

車

4. 行動記録

<入山日 22年8月15日。 下山日 22年8月15日>

9:00 うつろ谷入溪→うつろ谷遡行→12:00 稜線→赤坂山→14:00 駐車場

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由
予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す
特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

うつろ谷はたくさんの滝があり、そのほとんどが直登できます。シャワークライミングも楽しめ快適な沢登を満喫できました。下山も1.5時間ほどでおすすめの沢です。

報告者氏名 井谷竜治 22年8月15日

山本感想

雨天の関係から小川山 RC が中止となり、なにか代替案はないのか～と検討し、全員が初見のうつろ谷への沢山行に転戦となりました。若狭にあるうつろ谷は、最新の吉岡本からは削除されており、旧版に掲載されています。駐車場は舗装道を過ぎて林道終点まで行くことで少し楽が出来そうです。

沢の全体的な感想は、基本シャワークライミングで突破でき、巻道も問題なく、登山道まで藪漕ぎもありませんでした。下山道も登山道を利用するので、とても気持ちよく終わることが出来、初級者でも経験者と同伴であれば問題ない良い沢と思います。ご一緒いただいたメンバーには感謝です。有難うございます。

後藤感想

天候不順でこの夏の計画はほとんど飛びました。そんな中、沢に転戦するという思ってもみなかった機会に恵まれ 若狭の沢にいつて来ました。

水線をたどり、滝を登り、時に高巻き、道を探し、最後は稜線にでて山頂を踏み下山する。 わたしはこのスタイルが好きなので、今回のうつろ谷はとても楽しく忘れられない沢

になりました。

不慣れなわたしに、先導していただいた井谷さん、後ろからずっと見守ってくださった山本さん。ご同行いただいたお二人にはただただ感謝です。またどこかの沢で。